



学校だより

3月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

[た]くましく生きる人 [な]かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>


みのたなくん

休眠打破 ～開花のために必要な冬の寒さ～

校長 大原 敦子

紅白の梅の花が美しく咲き、よい香りが周りに広がっています。気付けば、日の出の時刻が早くなり、夕方5時を過ぎてもまだ明るくなってきました。春が確実に近づいていますね。3月に入ると私は桜の開花が待ち遠しくなります。この春に咲く桜の花芽は、今年のまだ暑さの厳しいときにすでにできているそうです。そして寒い時期もじっと眠っています。桜には「休眠打破」というものがあり、厳しい寒さで花芽の目が覚めるそうです。2月1日を休眠打破の日として、その日から毎日の最高気温を足していき、その合計が600℃となるあたりが開花時期となるそうです（これとは異なる開花予想の計算もあります）。今年はいつ頃になるのでしょうか。



2月16日（木）2年生の子どもたちが1年生や5組、保護者の方を招待して「にこにこハッピーおもちゃランド」を行いました。翌17日（金）朝には、全校児童や保護者の方々の前で、トランペット鼓笛隊のメンバーが発表会を行い、3曲披露しました。21日（火）には、5組の子どもたちが保護者の方を招いて学習発表会を行いました。どの活動でも、子どもたちは少し緊張していましたが、生き生きとした表情で発表したり、交流を楽しんだりしていたことが印象に残っています。でも、この発表当日に至るまでには、辛くてやめたかったことも、なかなかうまくいかなかったことも、友達と意見がぶつかったことも、きつとあったことと思います。それらを自分たちなりに乗り越えて、この発表があったのだらうと思いを馳せました。

「厳しい寒さがないと開花しない」桜の話と、どこかつながるところがあるように私は感じています。どの子どもたちも、この一年間ずっとにこにこ楽しく過ごせていたわけではないと思うのです。嫌なことがあったり、辛いことがあったり、悩んだことがあったりしながら、それを周りの友達や大人の励ましや温かいまなざしを支えに、乗り越えようとしていること、自分を見つめ直していること、乗り越えられたことが、その子にとっての成長につながっていることも、多々あると思います。もちろんすぐに乗り越えられたものもあれば、じっくりと時間が必要なこともあります。その子にとっての休眠打破も、様々だと思います。でも、いつかきっと花が咲く。そのために、必要な600℃の役割を私たちは精一杯行っていきたいと思っています。

昨日から6年生は卒業証書授与式の練習が始まりました。小学生として登校する日はあと13日。本当に早いものです。1～5年生は、今までたてわり活動や委員会・クラブ活動等々ところで学校全体をリードしてきた6年生に感謝の気持ちを伝えるために、いろいろな準備を進めています。小学校から中学校へと、大きく羽ばたく6年生をみんな笑顔でお祝いし、そして1～5年生も自分の成長を振り返り、4月からの新しいスタートへとバトンをつなげてほしいと願っています。

この一年間、様々な場面で子どもたちや学校にご理解ご協力をいただきましたこと、職員を代表して心より御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

お知らせとお願い

◎150周年記念キャラクターが決定しました！

2月24日に全校に向けて委員会の児童からキャラクターのお披露目がありました。現在全校児童でこのキャラクターの名前を決めているところです。どんな名前になるか楽しみです。

◎健康観察票について

新型コロナウイルス感染防止対策の一つとして長い間毎朝提出していただいていた健康観察票は、今年度をもって終了いたします。健康観察票の提出はありませんが、朝の検温やお子様の健康観察は引き続きよろしくお願いたします。

